

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05785	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	マクロファージによるアポトーシス細胞の貪食と細胞膜の非対称性	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	長田 重一 (大阪大学・免疫学フロンティア研究センター・寄附研究部門・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、“eat me”シグナルであるフォスファチジルセリンが細胞表面に暴露される機構と、その後の死細胞貪食の分子機構を解明する研究である。</p> <p>ATP11C シャペロン CDC50 のフリッパーゼ活性への関与、スクランブラーゼの生理機能等、いくつかの重要な進展があり、研究は順調である。優れた英文総説の執筆や多くの招待講演を行うなど、情報公開も積極的である。</p>		